

親子相互交流療法



親子相互交流療法（PCIT）は

- 幼い子どものころや行動の問題
- 子育てに悩みを抱える親（養育者）

に対し、遊びを通じて親子の相互交流を深めその質を高めることによって、より良い親子関係に向かうよう働きかける心理治療です。

☆多くの実証研究によって効果が確認されています。

☆米国フロリダ大学のSheila Eyberg博士によって考案され、世界中に広まっています。

子どものどのような行動に効果がありますか？

言うことを聞かない、かんしゃくを起こす、叩いたり蹴ったりする、暴言、物を壊す、落ち着きがない、嘘をつく、自信がない、など・・・

何歳の子どもの効果がありますか？

2～7歳での効果が実証されています。また、12歳まで可能とされています。



担当セラピストは、
PCIT Japan
PCIT international
に所属し、
定期的な研修を受けています。



PCIT Japan : <https://www.pcit-japan.com/>

子ども指向相互交流トレーニング：

親子間のコミュニケーションスキルを学習したうえで、ライブでコーチを受けながら親子で遊ぶセッションを2～4回行います。決まった問題行動があるお子さんや8歳以上のお子さんに向いています。

福岡歯科大学医科歯科総合病院小児科で
専門セラピストによる
親子相互交流療法（PCIT）を
受けることができます。

詳しい内容は次のページをご覧ください

PCITは完全予約制です
保険診療で実施します

毎週水曜日 13:30～15:30

はじめての方、ご興味のある方は
小児科外来に電話でご連絡下さい。
TEL:092-801-0411(代)
受付時間：13:30～16:30(平日のみ)

☆簡便な**子ども指向相互交流トレーニング**や親（養育者）だけが参加する**CAREプログラム**を受けることもできます。遠慮なくご相談下さい。

CARE（子どもと大人のきずなを深める）プログラム：

親子のコミュニケーションに焦点を当てたペアレント・トレーニングです。親（養育者）が対象で、親子のライブコーチングはありません。通常1回60分のセッションを3回行います。

親子相互交流療法の流れ

子ども指向 相互交流

子どものリードで遊びながら
親子の良い関係をより強めます



親指向 相互交流

親のリードで遊びながら
親子でしつづけを学びます



セラピストがコーチングします

セラピスト
が治療前の
親子の様子
をみます

セラピスト
が治療後の
親子の様子
をみます

親が
子ども指向相互交流
のスキルを学びます



親子で遊びながら
コーチを受けます



親が
親指向相互交流
のスキルを学びます



親子で遊びながら
コーチを受けます



修了



親子相互交流療法の大きな特徴は**ライブ・コーチング**です。

プレイルールの外にいるセラピストから、その場でイヤホンを通して親に分かりやすくコーチングするため、効率よくスキルが身に付きます。

保護者も子どもも体験しながら習得し、変化していきます！

一般的に、毎週 週1回 60分～90分、16～20回（4～6か月）で修了します。

● ● 気になる行動がある子ども
育児に悩みがある親